

「原子力技術に関する理解促進セミナー」を開催しました

エネ研は、福井県からの委託を受け、原子力関連業務への参入や技術力向上を目指す県内企業を対象に、原子力施設の保守点検作業や廃止措置業務等に必要な知識や技術の習得を目的とする「原子力関連業務従事者研修」を年間50講座以上実施しています。10月26日、この研修の一環として、嶺南企業の経営者・管理者に、原子力分野の人材育成の必要性や社員の技術力向上が自社の発展に重要との理解をより深めていただくため、「原子力技術に関する理解促進セミナー」を開催し、19名が受講しました。

セミナーでは、福井工業大学 岩永教授から「福井における原子力」について、福井県嶺南Eコースト計画室 三寺室長から「嶺南Eコースト計画に基づく廃止措置工事&クリアランスの状況」について、敦賀商工会議所 藤野事務局長から「嶺南地域の支援機関と連携した敦賀商工会議所の企業支援活動」について講義がありました。

受講者のアンケートでは、「セミナーがよく理解できた」、「エネ研で実施している研修に社員を是非参加させたい」との声が多く寄せられました。

今後も「原子力関連業務従事者研修」については、随時、研修項目や内容の見直しを行い、魅力ある研修としてまいりますので、皆様の積極的な御参加をお待ちしています。



岩永教授による講義



三寺室長による講義

「原子力プラント安全コース」を開催しました

アジア各国の原子力人材育成への貢献を目的とした研修事業「原子力プラント安全コース」（文部科学省事業）を10月25日から11月25日までの5週間にわたり開催しました。この研修は、世界的な新型コロナウイルス感染症拡大のため、オンライン形式で実施しました。

研修には、インドネシア、カザフスタン、フィリピン、タイ及びベトナムの5か国から、原子力関係省庁、原子力の研究所等の技術者・研究者8名が参加しました。

研修では、原子炉施設の安全技術（安全評価や保守技術）等に関する講義のほか、多くの映像や写真を用いて、高浜発電所、敦賀原子力防災センター等の福井県内の原子力関連施設の見学や近畿大学の研究炉での実習等を、また、研修の最後には、各国の原子力導入計画に関する課題について討論を行いました。

研修生からは、「原子力施設の安全性に関する多くの側面をカバーするなど研修の構成は適切だった」、「オンライン形式でのセミナーではあるが、この研修から多くのことを学んだ」といった感想が寄せられました。

オンライン形式での研修の様子



